



第10回 RELO CLUB 全日本企業対抗ゴルフトーナメント
じゃらんゴルフCUPダブルス 2014
関東B日程地区予選大会 競技規則

開催日：2014年2月1日（土）
会場：取手国際ゴルフ倶楽部（西コース）
企画／運営：SCORENET

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則2014及び大会ローカルルールを適用する。
カップインまでOKパット無しのノータッチ。6インチプレスも無しとする。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。
3. ラウンド中に使用する球についての規則
本競技ではワンボール条件は適用しないものとする。
4. ホールとホールの間での練習禁止
ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。
（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）
5. 険悪な気象条件・日没などのため競技が中止になった場合
競技中止の時点で全チームが9ホールズを消化していれば、競技成立。
消化していなければ競技不成立とする。尚、9ホールズでの競技成立の場合はアウトスタートインスタートに分けて、それぞれの9ホールのスコアが最小のチームを1位チームとする。
タイスコアが生じた場合は、アウトスタートは9番から、インスタートは18番からのカウントバックにより順位を決定する。
6. タイスコアの場合
18ホールズ終了後、チームスコアが同じ場合はアウト・インどちらのスタートにもかかわらず18番ホールからのカウントバックにより順位を決定する。
なお、上位チームには同大会のダブルス2013決勝大会への出場権が与えられる。
（有資格チームを除く）
7. アドバイス
プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。
なお他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合にはJGAゴルフ規則第8条によりそのホール2罰打を付加する。
8. パートナーについて
自チームのパートナーはプレーヤーサイドの者とし、パートナー自身またはパートナーの所持品にボールが当たった場合は、自分自身の場合と同様に規則19-2により1罰打が課せられる。

9. 処置について

疑問のある場合は1ホールプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。

※第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に大会事務局の裁定をおおぐこと。

10. 空き時間の練習について

昼食時の空き時間において、練習グリーンでのバッティング練習は行っても構わない。

11. メンバー変更について

ダブルス2014の決勝大会出場権を得た場合のメンバー変更は本予選会と同じメンバーが望ましいが1名までの変更は可能とする。

《大会ローカルルール》

1. クラブに関しては、JGA付属規則IIの4c(i)のベンデュラムテストプロトコル(R&A内規)の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド(いわゆる高反発クラブ)の使用を禁止する。
※当日の検査は実施しないが、プレー中もしくはプレー後に使用が発覚した場合失格となる。

2. 距離計測やホールレイアウトの確認

プレーヤーは距離計測やホールレイアウトを確認する目的でGPS式、レーザー式、音声式の距離計測器やコースナビゲーションなどをマーカーの確認を得た上で使用することができる。

※ マーカーへの確認はスタート前、スタート説明時など事前をお願いします。

※ 音声システムの機器は同伴者のプレーの妨げ、迷惑とならないようご注意ください。

2-a. 上記の機器を使用して得た情報の交換はアドバイスとはならない。

2-b. 使用する際にプレーを不当に遅延してはならない。

2-c. プレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件(電子コンパス、傾斜、風速、気温など)を計測する機能が付属されている距離計測器を使用してはならない。

※このローカルルールにおいて2-bの違反した場合下記の通りとなる。

・初回の違反 : 1罰打

・2回目の違反 : 2罰打

・3回以上の違反があった場合は競技失格とする。

3. 特設ティの使用について

本大会において特設ティは使用しないものとする。

※ このローカルルール違反は2罰打とする。

《ゴルフ場ローカルルールで適応するルール》

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭で標示する。
2. 修理地は、青杭又は白線で標示する。
3. ウォーターハザードは黄杭で、ラテラル・ウォーター・ハザードは赤杭で標示する。
4. 球が、標杭、樹木の支柱、ネット、給排水設備に接近して、プレーを妨げる時は罰なしで1クラブ・レンジス以内で、ホールに近づかないところにドロップすることができる。
5. 予備グリーン（カラー部分も含む）は、プレー禁止の修理地（スルーザグリーン）としその上に球があったり、スタンスがかかる場合、ゴルフ規則25-1b(i)を適用しなければならない。違反の罰は、ストロークプレーでは2打付加。
6. プレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールで2罰打を加えられなければならない。但し、そのラウンドの最終ホールのとき競技者は、そのホールで罰を受ける。

以上のローカル・ルール以外は全て大会規則及びJGA競技規則に依る。

《競技方法》

1. 18ホールズフォアボール（各ホール、チーム内の良い方のスコアを採用）ストロークプレーによって行う。
2. ティショットは前ホールのチームスコアの良いチームから行う。
その際チーム内で打順の変更は可能とする。
スタートホールのティショットに関してはスタート表どおりの順番でプレーする。
但し女性のいるチームに関してはその限りではない。
男性と女性のティ位置が離れている場合は、安全上男性が先に打つこととする。
※マッチプレーではないので、順番の誤りにてのペナルティはない。
3. 原則として遠球先打でプレーする。
4. 男性はバックティ（青）・女性はレディースティ（赤）を使用する。

《競技上の注意事項》

1. 集合

スタート時間の10分前に所定の場所にてアテストシートの配布、ルールの説明を行う。
スタート時刻に遅れた場合は失格というケースもあり、スタート説明を受けずにスタートすることはできない。

2. マナー

本大会ではプレーファーストを提唱しており、来場中及びプレー中は、企業に所属する社会人としての服装・マナーを遵守すると共に、スロープレーには十分注意しなければならない。
前組との間隔を1ホール以上空けることのないよう注意すること。
特別な理由がなく前組との間隔が1ホール以上空いた場合には、ペナルティを課すことがあります。
(プレー時間目安：2時間15分以内)

3. 暫定球

OBや、球の紛失の可能性のある場合には必ず暫定球の処置を行うこと。

4. アテスト

スタート説明を行う際に大会用スコアカードを配布する。
各選手はマーカのスコアをスコアカードに記入すること。競技終了後、マーカとスコアカードを交換し、各ホールのチームのスコア、チーム(2名分)及びマーカ(2名分)の署名が間違いなく記載されていることを確認の上、自分のスコアカードを提出すること。
スコアカードは遅延無く提出されなくてはならない。
大会当日の会場に最終成績が発表された時点で、そのチームのスコアカードを受理したものとし、それ以降はいかなる訂正・変更も認めないものとする。

《雪によるルール補則》

1. 雪はプレーヤーの選択でカジュアルウォーターかルースインペディメントとして扱うことができる。(定義12及び定義32)

①カジュアルウォーター(雪)からの障害

球が雪の中にあるか、雪に隣接されている場合及び、スタンスや意図するスイングの妨げになる場合、障害が生じたという。(規則25-1a)

②カジュアルウォーター(雪)からの救済

罰なしで、ホールに近づかず、雪の障害を避けられる場所で、その球に一番近い場所(ニアレスポイント)からワンクラブレンジス以内にドロップすることができる。もしも、球がバンカー内にある場合は、バンカー内にドロップすること。(規則25-1b)

③カジュアルウォーター(雪)での紛失球

球が雪の中に入ったことが分かっているか、ほぼ確実の場合は罰なしで、その雪のゾーンの外側を最後に横切った地点にあったものとみなし、上記の救済を受けることができる。(規則25-1c)
雪の中に入ったかどうか分からない場合はロストボールと同様の扱いとなる。(規則27-1)

④ルースインペディメントの処置

ルースインペディメントとは、石や木の葉や木の枝のことで、プレーの邪魔になれば取り除くことができる。雪のかけらや溶けきれずに氷の球になったものもルースインペディメントとして扱うことができ、罰なしで取り除くことができる。(定義32)

以 上